

新年明けましておめでとうございます。新たな年が始まりました。昨年、令和4年は1月のラグビー部の花園全国大会準優勝に始まり、夏には野球部が37年ぶりの甲子園出場を果たし、昨年度優勝校を破りベスト16、秋には地元栃木県にて二期一會とちぎ国体が開かれ、ラグビー部・野球部なぎなた部がそれぞれ3位入賞するなど「國學院栃木」の名を1年を通じて轟かせてくれました。コロナ禍で不安を感じることが多い中、多くの同窓生・県民・市民の方々から、たくさん元気や勇気をもらつたと喜んでいただけたのは、何より嬉しいことでした。今年はその勢いを上回るよう、さらに様々なことに挑戦して



教育の流行と不易

青木一男學校長

いきたいと思^{おも}います。

ところで、その令和4年は、高校も新しい学習指導要領のもとでの学習となりました。これからの社会は、AIの急速な進化など、技術革新が目覚ましく進展・普及し、超スマート社会Society5.0の到来、それに伴い人の働き方や生き方を含めた社会全体の構造化が激しく加速度的に変化しています。そのような予測不可能な時代を生きる生徒たちにとって、「生きる力」を身に付けるため、「主体的・対話的で深い学び」が大切になります。そのため学校でも数年前から授業、ICT、探究学習に関する委員会を中心にして、研修を重ねてきました。まずは準備してきました。まずはグループ学習を基本とし、生徒が主体的に学ぶ「アクティブラーニング」、生徒一人ひとりがタブレット型PCなどを使用する「ICT

が、身に付けるべき力として強調されているのが、「思考力、判断力、表現力等の育成」です。しかし、実はその前に「知識・技能等の習得」とあるのです。知識・技能の土台があつてこそ様々な力は育ちます。それに関して初代校長佐々木周二先生の文章で強く印象に残っているものがあります。先生がご自身のこと

不易なるもの

機器の活用」、そして、まさにこれらの時代に必要とされる力を身に付けるための「探究学習」、それらを一體となって推し進めてきました。また、「グローバル人材の育成」にも力を入れ、20年以上にも渡つて実施してきたアメリカ語学研修に加え、協定校との交流を軸としたドイツ国際研修を始めたとする韓国、カンボジアへの国際研修、そして海外留学の奨励や留学生の受け入れなど、積極的に海外との交流を行っています。こうして本校も時代の流れに遡ることなく着実に前へと進んでいます。

教育であることを口にいつづけ、必ず大きく報われねばならない。それが最も大切なことだ。

話されたものですが、勉強に非常に苦労し、教科書で習ったことを何度も書き写したり、大声を出して読んだりして覚え、また、学校へ一時間歩いて行く道のりで、英単語を単語カードを作り、必死になつて暗記するなどして、その最後に「私は人の倍の汗を流して頑張った。頭は駄目でも努力だけは頼れるんだと自分に言い聞かせて自分の流儀で工夫し、苦心したのである。諸君の学んでいる教育は自分から心に決めて一步歩汗を流して苦勞を重ねなければなりません。必ず大きく報われねばならない。それが最も大切なことだ。

第1回新入生ガイダンス(中) 17日~21日 2年期末試験(高) 18日 イングリッシュスピーチコンテスト(中・2年) 第3回ホームステイガイダンス(中3年) 19日 第3回英検2次 20日 卒業判定会議(中) 23日~3月6日 オーストラリアホームステイ語学研修(中3年) 28日 予金会(高)

本校の放課後の様子を見ると、授業や特別講座が終わった後も多くの教室で補習授業が行われ、生徒たちが自習室や学習コーナーで黙々と勉強していたり、職員室では教員に質問する姿がよく見られます。また栃木駅前にある教育センターハーでは、多くが閉館の午後8時半まで学習しています

3年間続け、難関大学に合格、大学2年生で公認会計士の試験に合格したのです。こうした例は数え切れないとほどあります。当然、教育の基本は授業にあり、その授業を通して生徒を変えていく、成長させていくことが大前提ではあります。しかし、生徒が心を動かし、目標を持つて学習に向かう動機になるのは、学校行事活動、委員会活動などの部活動、

口を開けさせられないことはないはずである。いつも生徒に語る、『努力』『根性』は、生徒よりも我々教師に与えられた言葉のよう思えてならない。私たちにはこの言葉をしつかりと心に刻み、すべての生徒が卒業時に「この学校で学んで良かった」と言えるよう、さらなる実践を積んでいくことを新年に当たり誓いたいと思います。

	ス(中)
17日～21日	2年期末試験 (高)
18日	イングリッシュスピーチ コンテスト(中・2年) 第3回ホームステイガ イダンス(中3年)
19日	第3回英検2次
20日	卒業判定会議(中)
23日～3月6日	オーストラリアホーム ステイ語学研修 (中3年)
28日	予餞会(高)

経験であつたり、教師のホールームルーム時の話、そして何気ない言葉かけであつたりします。

学校生活におけるありとあらゆるもののが生徒にとつて、人生を大きく左右する「学び」なのです。改めて一つひとつつの教育活動の意味を考えつつ、生徒一人ひとりに寄り添い、見守り、把握し、そして生徒たちに生きた言葉「を与えること」、それもまた「教育の不易」であることを、「私たちちは忘れはいけません」。

前述の左々木先生はPTA幹

ね、辛いと思えることも踏ん張つて乗り越えてこそ「本物の力」は身に付くものであることを、生徒諸君は覚えておいてください。

経験であつたり、教師のホーミルーム時の話、そして何気ない言葉かけであつた

ラグビー部 全国大会結果報告 ベスト16

ラグビー部
ベスト16

第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会、
12月30日(金)～1月1日
(日)、東大阪市花園ラグビー場。

前回大会準優勝でBシードの本校は、30日の2回戦から登場した。

本校 43 21 5 12 **茗渓学園高**
島崎聖弥選手(B3年)がトライし先制した。その後も

ライフルを詰したか
いタックルで相手の前進を
阻み、攻撃の芽を摘み、7
トライで快勝し、3回戦進
出を果たした。

前半は両チーム一歩も譲らない展開が続いたが、前半24分、細かいパスワークからW.T.B島崎選手が22メートルラインの内側まで攻め込むと、バスを受けたC.T.B山田壮選手(B3年)が先制トライを決め、前半は7対3で折り返した。しかし、後半10分にトライを奪われ7対8と逆転されるとその後は反則から相手に好機を与え、攻撃でも相手の激しいブレッシャーの前に屈する結果となり、3トライ2ゴールを決められ準々決勝進出を逃した。



杉本選手、福田選手(ラグビー部) ニュージーランドへ遠征
U18女子SDS、男子セブンズユースアカデミーに選出



杉本姫菜乃選手 福田正武選手
(B.1年) (B.2年)

（B1年）（B2年） ン男とち3出生国手 話

話した。福田選手は、全日本の高校二から選出された名のうの一人として、女子セブンズユ

世界のレベルを知り、自分が今すべきことが明確になつた」と話した。

ニュージーランド遠征では、ラグビーだけでなく日本とは異なる文化や食事環境で過ごし、また、海外チーム・選手との交流を通して、たくさんの学びがあったようだ。両選手のさらなる活躍に期待したい。

令和4年度栃木県高等学校
第37回関東高等学校ハンド
ボール選抜大会県予選会、
12月24日(土)～26日(月)、
日立柄木体育馆ほか、
予選トーナメントは、作
新学院高校に32対12で勝ち
上がる、決勝リーグは、
宇都宮工業高校に39対21、
鹿沼商工高校に43対24と勝
利したが、石橋高校に28対
30と惜敗し、優勝を逃した
この結果、2月3日(金)

から5日(日)の日程で千葉県で開催され、全国選抜大会の予選も兼ねる関東高等学校ハンドボール選抜大会に出場が決まった。

第39回若潮杯争奪武道大会
石田選手 ベスト8
坪山選手 ベスト16
なぎなた部

令和5年度入試合格速報（1）

國學院大學 90名
お茶の水・筑波・

令和5年度入試合格速報(1)

國學院大學 90名

お茶の水・筑波・早稲田・慶應に合格

國學院大學

経済学部
経済学科

経営学部
経営学科

国士館大学
体育学部

こじもスポーツ教育学科

日本大学

法政大学

理学部2部

物理学科

電気電子情報工学科

応用数学科

東京理科大学
経営学部

国際デザイン経営学科

法学部

政治経済学科

経済学部

産業経営学科

6名

記念館において高校3年生
に対する校長講話が行われ
た。

今回の校長講話が行われ
る前に、生徒から青木学校
長に聞きたいことを募集
し、その質問に青木校長
が答える形で行われた。
青木校長についての個
的な質問から始まり、大
学生時代に熱中したことな
どの質問や社会人として働
き出してからのことなど、
これから新たな生活を送る
高校3年生ならではの質問
がなされた。
また、校長講話の後に共
通テストを受験する生徒た
ちへの激励もあった。

文学部
日本文学科
中国文学科
外国語文化学科

史学科
哲学科
神道文化学科

神道文化学科
法律学科法律専攻(9名)

観光まちづくり学部
観光まちづくり学科(6名)

人間開発学部
初等教育学科
健康体育学科

昭和女子大学
国際学部
人間社会学部

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

法政大学
経営学部
経営学科

文学部
日本文学科
中国文学科
外国語文化学科

史学科
哲学科
神道文化学科

人間開発学部
初等教育学科
健康体育学科

青山学院大学
看護学部
看護学科

駒沢大学
経済学部
仏教学部

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

法政大学
経営学部
経営学科

文学部
日本文学科
中国文学科
外国語文化学科

史学科
哲学科
神道文化学科

人間開発学部
初等教育学科
健康体育学科

日本文化学科
子ども支援学科
人間教育学科

駒沢大学
経済学部
仏教学部

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

法政大学
経営学部
経営学科

文学部
日本文学科
中国文学科
外国語文化学科

史学科
哲学科
神道文化学科

人間開発学部
初等教育学科
健康体育学科

日本文化学科
子ども支援学科
人間教育学科

駒沢大学
経済学部
仏教学部

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

法政大学
経営学部
経営学科

文学部
日本文学科
中国文学科
外国語文化学科

史学科
哲学科
神道文化学科

人間開発学部
初等教育学科
健康体育学科

日本文化学科
子ども支援学科
人間教育学科

駒沢大学
経済学部
仏教学部

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

法政大学
経営学部
経営学科

一般大学(総合型・学校推薦型選抜)(2部掲載)

茨城大学
人文社会学部
法律経済学科

宇都宮大学
コムニニティ人間科学部
経営学部
経営学科

中央大学
経済学部
人間総合理工学科

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

国公立大学

茨城大学
人文社会学部

法律経済学科

自治医科大学
看護学部
看護学科

駒沢大学
経済学部
応用化学科

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

法政大学
経営学部
経営学科

筑波大学
情報学群

行動科学コース

宇都宮大学
1名

茨城大学
人文社会学部
法律経済学科

駒沢大学
経済学部
応用化学科

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

法政大学
経営学部
経営学科

千葉大学
文学部

筑波大学
知識情報・図書館学類

1名

茨城大学
人文社会学部
法律経済学科

駒沢大学
経済学部
応用化学科

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

法政大学
経営学部
経営学科

筑波大学
情報学群

行動科学コース

1名

宇都宮大学
1名

茨城大学
人文社会学部
法律経済学科

駒沢大学
経済学部
応用化学科

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

同志社大学
情報学群

行動科学コース

1名

早稲田大学
1名

茨城大学
人文社会学部
法律経済学科

駒沢大学
経済学部
応用化学科

成蹊大学
法学部
人間社会学部

明治大学
経済学部
商学部

法政大学
経済学部
社会科学部

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
社会学部
社会学科

法政大学
政治学科
法律学科

法政大学
経営学科
経営学部

文教大学
言語文化学科

国際英語学科

国際関係専攻

国際関係専攻
(2名)

国際関係専攻

国際関係専攻

国際関係専攻

国際関係専攻

国際関係専攻

国際関係専攻

国際関係専攻

国際関係専攻

国際関係専攻

大学入学共通テスト実施

1月14日(土)、15日(日)

独協医科大学において大学
共通テストが行われた。今
年度は218名の生徒が受験し
た。この共通テストに向け
て生徒たちは日々努力し続
けてきた。教科担当者も生徒が自
信と実力をつけられるよう
生徒を支援し続けてきた。

3年生はこの試験結果を
受けてより一層努力し、受験
の出願を決定する。国公立大
学への出願を決定する。国公立大

学への出願を決定する。国公立大
学への出願を決定する。国公立大

3年校長講話

1月12日(木)、四十周年記念館において高校3年生に対し、校長講話が行われた。

今回の校長講話が行われる前に、生徒から青木学校長に聞きたいことを募集し、その質問に青木学校長が答える形で行われた。

青木学校長についての個人的な質問から始まり、大學生時代に熱中したことなどの質問や社会人として働き出してからのことなど、これから新たな生活を送る高校3年生ならではの質問がなされた。

また、校長講話の後に共通テストを受験する生徒たちへの激励もあつた。

生徒を支援し続けてきた。3年生はこの試験結果を受けて国公立・私立大学への出願を決定する。国公立2次試験や私立一般受験に向けてより一層励み、受験者それぞれに良い結果が訪れることを願っている。

●各コースは、
次の記号で表示されます。

次の記号で表示されます。	
中高一貫コース	N
特別選抜Sコース	S
特別選抜コース	T
選抜コース	A
文理コース	B
佐々木尋(3年)	佐々木尋(3年)
山元瑛祐(3年)	山元瑛祐(3年)
平田博通(3年)	平田博通(3年)
藤貫哲生(3年)	藤貫哲生(3年)

実施

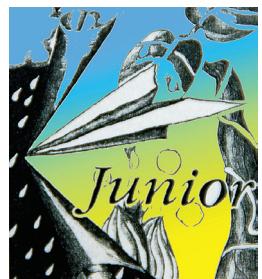
1位 佐々木千尋(S3年)
2位 平田 竜都(N3年)
3位 藤貫 哲生(S3年)
4位 橋田 伊巧(S3年)
5位 山元 博通(S2年)
1位 藤貫 哲生(S3年)
2位 平田 竜都(N3年)

は向けて意識を高めるとともに実力を図ることを目的として行われている。

数学コンテスト実施

新年度に向けて、充実した総まとめの学期にしよう

新たな年を迎える、いよいよ締めくくりの3学期がスタートした。4月からは1・2年生は上級生となって、学校を牽引していく立場となり、3年生は高校へ進学する。それぞれが新しいステージに進むために、この3学期で1年間のまとめをしっかりとほしい。皆さん努力に期待する。



ボキヤブリーコンテスト
12月12日(月)、ボキヤブリーコンテストが行われた。これは400語から500語程度の英単語を範囲とし、200点満点で実施され、これまでの学習の成果を見る良い機会となつている。意味を答える問題では、單語帳に漢字で書かれているものは漢字で書かなければ減点されるなど、厳しくチェックされるが、頑張つて満点を取る生徒もいた。

愚痴や不満を言い、マイナスの方向に考えがちです。『人に何をしてもらうか』ではなく『人に対し何ができるか』を考えましょう。『こんにちは』と挨拶した笑顔で『こんにちは』と挨拶が返ってくる。落とした物を拾つてあげたら『ありがとうございます』と感謝される。どんなにか気持ちが良いでしょう。与えることは喜びを知る、そうして人は幸せになります。

学校長は、「私たちは当たり前のように登校し、家に帰ると家族がいて、食事があり、寝る布団があります。しかし、得てして『ないもの』に目が行き、つい愚痴や不満を言い、マイナスの方向に考えがちです。『人に何をしてもらうか』ではなく『人に対し何ができるか』を考えましょう。『こんにちは』と挨拶した笑顔で『こんにちは』と挨拶が返ってくる。落とした物を拾つてあげたら『ありがとうございます』と感謝される。どんなにか気持ちが良いでしょう。与えることは喜びを知る、そうして人は幸せになります。

3学期始業式

学校長式辞(要旨)

今「ある」ものを大切に

青木一男 学校長



生徒たちに語りかける
青木学校長



六十五歳の原点

外国语科

大島秀郎

ラジオに話を

移すと、私は昭和

48年4月号から

『NHKラジオ英

語会話』を一日15

分、現在に至るま

で継続聴取している。

50年間になる。およ

そ六百冊のテキストがすべて保存してある。

平川唯一、松本亨、大杉正明、遠山顯、大

西泰斗と錚々たる講師陣によつて開講さ

れてきたが、私にとつて忘れられないのは

東後勝明先生時代の14年間である。東後

先生の英語は、一旦その英語を聞いてしま

つたらなかなか耳から離れないような「た

いへん聞き心地のいい美しい英語」であつ

た。後でわかつたことだが、東後先生は青

木学校長の大学時代のゼミ担当教授であ

つたそうだ。先生の講演会には十数回参加

したことがあるが、一度だけ食事をご一緒

させていた。いたことがある。その際キツ

ネ色に変色した数十年前の4月号をお見

せることができた。

以上の二つは昭和のメディア史上におけ

る重要な番組だが、これらを知らないなかつたおそらく今の私はいないであろう。



東後先生と筆者

教務日誌抄 中学

3位	2位	1位	10位	8位	6位	4位	2位	1位	10位	9位	8位	6位	4位	2位	1位	10位	9位	8位	6位	4位	2位	1位	
市川奏太(2組)	2位	1位	10位	7位	4位	1位	10位	7位	10位	8位	6位	4位	1位	10位	7位	10位	8位	6位	4位	1位	10位	7位	
市川 梶田	早川 悠斗(2組)	茶谷 和紀(1組)	宇佐美 凜(1組)	内山 鳩良(2組)	佐々木 瑞夏(2組)	古庄 紗良(1組)	神谷 零(2組)	金子 恵生(2組)	中島さくら(1組)	堀江 隆太(1組)	川上 遼太(2組)	大輝(2組)	伊藤 真徳(2組)	高橋 健太(1組)	渡邊 悠希(1組)	川上 遼太(2組)	大輝(2組)	吉田 翔海(1組)	大塚 優羽(2組)	並木 鳩之介(2組)	符 文媛(1組)	高久 紫音(2組)	
13日(金)父母会新年会	10日(火)始業式・美化の日	1月	第3学年	第2学年	第1学年	第3学年	第2学年	第1学年	第3学年	第2学年	第1学年	第3学年	第2学年	第1学年	第3学年	第2学年	第1学年	第3学年	第2学年	第1学年	第3学年	第2学年	第1学年

31日(火)第3回育伸社ボラ	30日(月)第3回学力推移調査(国・数・英)	27日(金)第3回入学試験	21日(土)第3回英検1次	20日(金)第3回志願式	14日(土)第2回英検1次	制服採寸	14日(土)第2回英検1次	14日(土)第2回志願式	14日(土)第2回入学試験														
社)	学习状況	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	査(国・数・英)	